

平成25年度 事務事業評価シート

事業概要	事務事業名	分別収集事業					担当部	環境交通部								
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	リサイクルプラザ								
	事業期間	平成12年度以前			～		平成30年度以降		担当係	清掃資源係						
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		1 3Rを推進する									
		副目的														
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	4		中	2	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例														
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市民生活から排出されるごみ・資源を分別収集して適正に処理するために効率的な収集体制を確保する。														
	内容 (手段)	<p>燃やさないごみ、空きびん、空き缶、ペットボトル、蛍光管類、廃食用油、粗大ごみは、市直営で収集を行った。また、燃やすごみ、プラスチック製容器包装、金属類、古紙・古布については、7業者に収集委託した。現業職員構成の変化に対応した班編成を実施した。(平成25年4月1日現在集積場数、燃やすごみ2929箇所、燃やさないごみ・資源ごみ1734箇所、古紙・古布・蛍光管984箇所)</p> <p>●直営での収集 燃やさないごみ、空き缶、空きびん、ペットボトル、粗大ごみ、蛍光管、こまやか収集</p> <p>●委託状況 燃やすごみ・プラスチック製容器包装(ビホク、大成環境、第一環境、尾張クリーンパイプ)、金属類(伸和環境)、古紙・古布(小牧古紙リサイクル協同組合)</p> <p>【24直接経費の内訳】 ごみ収集委託料(309,542千円) ガラスくず再資源化処理委託料(2,608千円) 蛍光管類処理委託料(1,112千円) 適正処理困難物等処理委託料(7千円) 臨時アルバイト職員賃金(1,277千円) 業務用備品購入費(247千円) 破傷風・B型肝炎予防ワクチン接種等手数料(364千円) 消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料・医薬材料費(11,596千円) フォークリフト研修会負担金(54千円)</p> <p>【25直接経費の内訳】 ごみ収集委託料(312,043千円) ガラスくず再資源化処理委託料(3,000千円) 蛍光管類処理委託料(1,800千円) 適正処理困難物等処理委託料(3,000千円) 臨時アルバイト職員賃金(1,195千円) 業務用備品購入費(200千円) 破傷風・B型肝炎予防ワクチン接種等手数料(505千円) 消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料・医薬材料費(13,985千円) フォークリフト研修会負担金(55千円)</p> <p>【24その他財源の内容】 空き缶等売却代金(53,575千円) 空き缶(15,614千円) 空き瓶(144千円) 金属類(7,623千円) 古紙・古布類(30,194千円)</p> <p>【25その他財源の内容】 空き缶等売却代金(29,286千円) 空き缶(11,137千円) 空き瓶(149千円) 古紙・古布類(18,000千円)</p> <p>○25年度実施内容 24年度と同様に実施する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	358,705	345,888	326,807	362,048	
		正職員	従事者数	人	12.40	11.45	10.50	10.50
			人件費	千円	66,092	61,028	55,965	55,965
		その他職員	従事者数	人	18.30	19.15	20.15	17.15
			人件費	千円	43,712	53,108	55,178	46,637
	費用合計	千円	468,509	460,024	437,950	464,650		
	対前年比	%		98.1	95.2	106.0		
財源	一般財源	千円	428,530	406,560	384,375	435,364		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	39,979	53,464	53,575	29,286		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	家庭から排出されるごみ・資源総量 (うち資源量)	t	目標	—	—	—
実績				34244(9055)	34513(9073)	34,110(8,731)	
業	ごみ・資源収集日数	日	目標	—	—	—	—
			実績	312	311	310	
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標	—	—	—	—
績	家庭から排出されるごみ・資源総量 (うち資源量)	t	実績	34244(9055)	34513(9073)	34,110(8,731)	
			目標				
業			実績				
			目標				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	市民生活から排出されるごみ・資源を分別収集して適性に処理するため、効率的な収集運搬体制を確保した。				
		事業実施における課題	正規職員の退職に伴いこれを補完するか、委託化する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民生活から排出されるごみ・資源が収集されず衛生環境が悪化する。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	再任用職員3名の退職に伴い、3人10台体制から3人9台体制へ収集体制を改善した。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	市民生活から排出されるごみ・資源の収集運搬は順調に行われているが、正規職員の退職に伴いこれを補完するための委託化を検討していく必要がある。					
	26年度以降の改善案	正規職員、再任用職員、臨時職員の、3種類の勤務時間が異なる職員が収集にあたるため最も効率の良い班編成となるよう努める。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持